教育課程論
Study of Curriculums

OOKA Kiriko
大岡 紀理子

科目ナンバリング：UTL-1-301-08

■授業の目的及び到達目標
本授業の目的は、教育課程がもつ社会的役割と機能及び意義、及び教育課程編成の原理と方法、学校・地域の実情に即した指導計画について理解することである。教育課程の社会的役割や機能及び学習指導要領の性格と各改訂の背景、及び教育課程編成の原理と方法、指導計画の重要性を理解できることが到達目標となる。

■授業計画
1 教育課程／カリキュラムとは何か
　授業の進め方、評価方法等について年間を見通した計画を説明する。また、「教育課程」と「カリキュラム」の差異について解説する。
2 カリキュラム・マネジメント
　教育課程編成に関わるカリキュラム・マネジメントの考え方と手法について理解する。
3 学習指導要領の位置付けと性格について
　教育課程の国家的規準としての位置付け、創意工夫を促す大綱規準としての性格を理解する。
4 各時期における学習指導要領の要点（1）
　１９４７年の試案、１９５１の部分改訂、抜本的改定であった１９５８改訂の背景・要点を理解する。
　量的拡大の１９６８年改訂、ゆとり政策への転換であった１９７７改訂の背景・要点を理解する。
5 各時期における学習指導要領の要点（2）
　道徳改定の１９８９年改訂、総合的な学習の時間新設の１９９８年改訂の背景・要点を理解する。
　授業時数増加を図った２００８年改訂、能動的学習への転換を図ろうとする２０２０年実施の学習指導要領の背景・要点を理解する。
6 教育課程編成の目的
　内発的動機づけや外発的動機づけなど教育課程の編成の基本的な部分を理解する。
7 教育課程の社会的役割と機能
　戦後日本各地で見られた地域教育計画を手掛かりにし、学校・地域の実情に即した教育・指導計画を考える。
8 カリキュラムと時間割
　カリキュラム構成時の基本的な時間割の様々な種類について理解する。
9 カリキュラムと教室
　教室の在り方の特色を理解し、カリキュラムを編成する際に必要となる教育内容を理解する。
10 履修主義と修得主義・年限主義と課程主義
　履修主義と修得主義・年限主義と課程主義について違いを理解する。
11 教育課程の諸類型
　教育課程を編成する上での教育課程の諸類型を理解する。
12 教育課程編成の原理と方法
　教育課程編成に関わるスコープとシークェンス等について理解する。
13 授業のまとめと定期試験
　これまでの講義のポイントを整理し、定期試験を実施する。試験後、フィードバックとしての事後解説を総合的に行う。

■授業の方法
授業の方法は、基本的には文書ファイル（PDF 等）でのオンデマンド型授業です。
授業資料は Blackboard 内の「講義資料」に掲出します。課題は Blackboard 内の「課題」に提出してください。
課題に関しては、講義資料をよく読み、理解した上で取り組むようにしてください。
なお、質問等がある場合はメールに送ってください。
提出期限を過ぎた課題に関しては、受講生の公平性の観点から受け付けておりませんので、期限は守るようにしてください。
メール等での受け付けもしません。

■予習・復習
授業内で提示した資料等を用いて授業の内容を確認し理解を深める。（1〜2 時間程度）

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）
試験 60％と平常点 40％（提出物など）で総合的に評価する。

■教科書・参考書
教科書：特に使用しない。
参考書：『中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説総則編』文部科学省
　　『高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 総則編』文部科学省